

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ニューラルグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4056 URL <https://www.neural-group.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 路威
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO 財務管理本部長 (氏名) 種 良典 (TEL) 03-5157-2345
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,375	19.2	△436	—	△452	—	△364	—
2022年12月期第2四半期	1,153	—	△282	—	△283	—	△906	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △366百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 △906百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△24.89	—
2022年12月期第2四半期	△63.42	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

2. 2022年12月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年12月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,761	747	19.5
2022年12月期	3,803	432	11.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 733百万円 2022年12月期 422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	38.9	10	—	2	—	△100	—	△6.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	15,144,199株	2022年12月期	14,439,199株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	140株	2022年12月期	119株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	14,639,979株	2022年12月期2Q	14,296,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

(1) 財政状況及び経営成績の状況

当社グループは「AIで心踊る未来を」をミッションとして、リアル空間のデジタル化による社会課題の解決や独自のAIメディアサービスの創出を目指しております。当社グループ事業は、デジソリユーション、ライフスタイルの2つのサービスドメインで構成されております。

デジソリユーションサービスドメインでは、AIカメラを活用した駐車場や物流施設の可視化を通じた効率的な運用を実現する「デジパーク」、街中及び施設内の人流解析や防犯に用いられる「デジフロー」、屋外及び屋内用LEDディスプレイの「デジルック」、デジタルサイネージを媒体とするマンションサイネージ広告メディアの「フォーカスチャンネル」を提供しております。ライフスタイルサービスドメインでは、アパレル企業向けファッショントレンド解析「AIMD」をはじめとする幅広いAIシステムサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間において、売上高は、2022年11月30日にOpenAIにより発表されたChatGPTを始めとするAIのモデルの1つである大規模言語モデル(LLM)が注目され第四次産業革命を迎えるといわれているAI市場の追い風を受ける中、2021年度においてユニットベース事業(自社AIサービスの販売)へ移行したサービスについて汎用的なニーズに基づく使いやすさを追求し、また、前年同期では連結損益計算書への損益取込期間が短い株式会社ネットテン(2022年9月にニューラルマーケティング株式会社へ商号変更)の影響もあり、前年同四半期より増加しました。

一方、当社グループは事業成長期にあり、活動を支えるために事業基盤を強化すべく、営業人員の積極的な採用、海外を含む事業拠点の拡大、AIエンジニアの採用及び育成を行った結果、事業拡大に伴う販管費の増加等で前年同四半期より営業損益は悪化しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,375,167千円(前年同四半期19.2%増)となり、営業損失436,091千円(前年同四半期は営業損失282,631千円)、経常損失452,475千円(前年同四半期は経常損失283,798千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は364,388千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失906,678千円)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントはAIエンジニアリング事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

より詳しい決算内容に関しては、当社IRサイトより、2023年8月10日発表の「2023年12月期 第2四半期 決算説明資料」をご覧ください。

参考URL:<https://www.neural-group.com/ir/library/index.html>

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,972,052千円となり、前連結会計年度末に比べ58,438千円減少いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が153,919千円減少したこと及び現金及び預金が85,903千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,788,949千円となり、前連結会計年度末に比べ16,082千円増加いたしました。これは主に、のれんが51,939千円減少、有形固定資産が51,635千円増加、投資その他の資産の「その他」に含まれる繰延税金資産が53,070千円増加、敷金及び保証金が13,988千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,761,001千円となり、前連結会計年度末に比べ42,356千円減少いたしました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,495,236千円となり、前連結会計年度末に比べ120,771千円減少いたしました。これは主に、買掛金が16,074千円減少したこと及び流動負債「その他」に含まれる未払金が65,572千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は1,518,417千円となり、前連結会計年度末に比べ236,489千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が187,160千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,013,653千円となり、前連結会計年度末に比べ357,260千円減少いたしました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は747,347千円となり、前連結会計年度末に比べ314,904千円増加いたしました。これは主に、資本金の増加338,752千円及び資本剰余金の増加338,752千円並びに利益剰余金364,388千円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ153,609千円増加し、1,161,691千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は347,698千円(前年同四半期は102,408千円の減少)となりました。これは主に、減少要因として税金等調整前四半期純損失449,328千円であり、増加要因として、減価償却費32,532千円、のれん償却額51,939千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは36,059千円の増加(前年同四半期は421,487千円の減少)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入82,875千円、有形固定資産の取得による支出53,375千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は465,226千円となりました。これは主に長期借入による収入60,000千円及び株式の発行による収入669,386千円並びに長期借入金返済による支出247,160千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想及び業績予想の前提となる条件につきましては、2023年2月10日に公表いたしました内容から変更はありません。なお、業績予想に対する当第2四半期連結累計期間の売上高に関しては、下期の売上偏重を想定しているため、想定通期予想に対する進捗率は約34%となっています。

当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,112,907	1,198,811
受取手形、売掛金及び契約資産	535,546	381,627
棚卸資産	290,114	273,406
その他	91,922	118,206
流動資産合計	2,030,490	1,972,052
固定資産		
有形固定資産	88,737	140,373
無形固定資産		
のれん	1,151,331	1,099,391
その他	217,020	203,701
無形固定資産合計	1,368,351	1,303,093
投資その他の資産		
投資有価証券	167,059	157,215
敷金及び保証金	146,896	132,907
その他	1,822	55,360
投資その他の資産合計	315,777	345,482
固定資産合計	1,772,866	1,788,949
資産合計	3,803,357	3,761,001
負債の部		
流動負債		
買掛金	64,842	48,767
1年内償還予定の社債	34,000	34,000
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	454,988	454,988
その他	362,177	257,480
流動負債合計	1,616,007	1,495,236
固定負債		
社債	66,000	49,000
長期借入金	1,599,192	1,412,032
退職給付に係る負債	54,795	57,385
その他	34,919	-
固定負債合計	1,754,906	1,518,417
負債合計	3,370,914	3,013,653

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	79,106	417,858
資本剰余金	1,423,283	1,762,035
利益剰余金	△1,081,032	△1,445,421
自己株式	△495	△528
株主資本合計	420,861	733,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,673	-
為替換算調整勘定	-	21
その他の包括利益累計額合計	1,673	21
新株予約権	9,907	13,381
非支配株主持分	0	0
純資産合計	432,443	747,347
負債純資産合計	3,803,357	3,761,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,153,713	1,375,167
売上原価	383,130	467,907
売上総利益	770,583	907,259
販売費及び一般管理費	1,053,214	1,343,351
営業損失(△)	△282,631	△436,091
営業外収益		
受取利息	42	19
受取配当金	0	1
為替差益	7,042	2,070
受取保険金	-	1,073
違約金収入	3,337	572
その他	2,332	296
営業外収益合計	12,756	4,034
営業外費用		
支払利息	10,630	12,259
資金調達費用	3,250	-
株式交付費	-	8,118
その他	43	41
営業外費用合計	13,923	20,419
経常損失(△)	△283,798	△452,475
特別利益		
固定資産売却益	8,220	909
投資有価証券売却益	-	3,586
特別利益合計	8,220	4,495
特別損失		
固定資産売却損	-	1,348
減損損失	624,959	-
特別損失合計	624,959	1,348
税金等調整前四半期純損失(△)	△900,537	△449,328
法人税、住民税及び事業税	35,588	2,151
法人税等調整額	△29,447	△87,091
法人税等合計	6,140	△84,939
四半期純損失(△)	△906,678	△364,388
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△906,678	△364,388

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△906,678	△364,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225	△1,673
為替換算調整勘定	-	21
その他の包括利益合計	225	△1,652
四半期包括利益	△906,452	△366,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△906,452	△366,041
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△900,537	△449,328
減価償却費	120,801	32,532
減損損失	624,959	-
のれん償却額	74,295	51,939
受取利息及び受取配当金	△42	△21
支払利息	10,630	12,259
資金調達費用	3,250	-
株式交付費	-	8,118
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	439
為替差損益 (△は益)	△7,042	△2,417
固定資産売却損益 (△は益)	△8,220	-
売上債権の増減額 (△は増加)	24,797	153,919
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,972	4,707
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,818	△16,074
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△3,586
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,140	△4,395
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,920	2,589
その他	27,273	△121,418
小計	△48,565	△330,736
利息及び配当金の受取額	42	11
利息の支払額	△12,971	△13,784
法人税等の支払額	△40,914	△3,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	△102,408	△347,698
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	4,360	-
投資有価証券の売却による収入	-	10,126
貸付けによる支出	△1,241	-
貸付金の回収による収入	1,359	180
有形固定資産の取得による支出	△127,780	△53,375
無形固定資産の取得による支出	△113	△600
投資不動産の売却による収入	102,165	10,164
定期預金の預入による支出	-	△15,170
定期預金の払戻による収入	-	82,875
敷金及び保証金の差入による支出	△125	△2,817
敷金及び保証金の回収による収入	355	4,674
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△251,253	-
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△150,000	-
その他	784	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△421,487	36,059

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000	-
長期借入れによる収入	700,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△159,515	△247,160
社債の償還による支出	△17,000	△17,000
株式の発行による収入	2,895	669,386
自己新株予約権の取得による支出	△10,220	-
その他	△3,250	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	362,909	465,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△160,986	153,609
現金及び現金同等物の期首残高	1,425,990	1,008,082
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,265,004	1,161,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日付で、ソニー株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が334,995千円、資本準備金が334,995千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が417,858千円、資本剰余金が1,762,035千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

当社の事業セグメントは、AIエンジニアリング事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社の事業セグメントは、AIエンジニアリング事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年2月21日に行われた株式会社ネットテン(2022年9月にニューラルマーケティング株式会社へ商号変更)との企業結合について、前第1四半期連結会計期間より暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、取得時点(取得日 2022年2月21日)において、無形固定資産の顧客関連資産に262,527千円、投資その他の資産の保険積立金に124,092千円、投資有価証券に143,750千円、固定負債の繰延税金負債に182,977千円が配分されました。この結果、前第2四半期連結会計期間において暫定的に算定されたのれんの金額は1,551,818千円から348,547千円減少し、1,203,270千円となっております。

また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業損失が39,722千円、経常損失が26,258千円増加しており、親会社株主に帰属する四半期純損失が8,228千円増加しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
1株当たり四半期純損失(△)	△63円42銭	△24円89銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	△906,678	△364,388
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)(千円)	△906,678	△364,388
普通株式の期中平均株式数(株)	14,296,804	14,639,979
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2. 前第2四半期連結累計期間については、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。